

はしもととしょかん こどもしんぶん 第214号

ほんのもり

2021年5月



えほん E/M 『かもさんおとおり』

ロバート・マックロスキー／さく・え わたなべしげお／やく

福音館書店

かものマラードおくさんと8わの子^こがもたちは、公園^{こうえん}の池^{いけ}までおひっこしをするため、1れつにならんで大通り^{おおどお}をわたろうとします。ところが車^{くるま}は「ぶー」とけいてきをならし、かもたちは「ぐあっ！ぐあっ！」となき、そのうち道路^{どうろ}は大混乱^{だいこんらん}。そこへおまわりさんがとんできました。

さあ、かもたちはぶじに池までたどりつけたでしょうか？

2021年5月発行

発行：相模原市立橋本図書館

TEL：042-770-6600

FAX：042-770-6601

あたら はい ほん

～新しく買った本のしょうかい～



「ほんのもり」は、子どもと本をつなぐことを目的とした橋本図書館が発行することも向けしんぶんです。

しらべるほん **J21**

しょうがっこうちゅうがくねん
小学校 中学年～

『大注目！写真とイラストでわかる大正時代をのぞいてみよう』

『大正時代をのぞいてみよう』編集委員会／編著 汐文社

いまから100年前の大正時代とはどのような時代だったのでしょうか。食べ物やファッション、映画やラジオなどの大衆文化から、大正時代の人々のくらしをのぞいてみましょう。



ようじ
幼児～

えほん **ソラE** 『このかみなあに？』

谷内つねお／さく 福音館書店

この本で言う「このかみ」とは、私たちにとってはなくてはならない紙、そう「トイレットペーパー」のことです。毎日あたりまえのように使っているトイレットペーパーのひみつにせまる写真絵本です。



よみもの **J913/かこ** 『くもとりの山のイノシシびょういん』

てい
小学校 低学年

かこさとし／文 かこさとし・なかじまかめい／絵 福音館書店

くもとりの山のふもとに小さな病院がありました。院長のイノシシ先生は、体が大きくて、モジャモジャ髪で、こわい顔をしています。でも、ポンポ（おなか）がいたいタヌキのポンちゃんも、くしゃみがとまらないカマキリさんも、みな、この病院にやってきます。イノシシ先生はどうやって、病気をなおすのかな？



5月の記念日にまつわる本



あいちょうしゅうかん
愛鳥週間 (バードウィーク)
10日~16日

しらべる本 **J488** 『^な ^{こえ} ^{しら} ^{やちようすかん} 鳴き声から調べる野鳥図鑑』CD付
松田道生/文・音声 菅原貴徳/写真 文一総合出版

そとにでると^{とり}鳥の^な鳴いている^{こえ}声はきこえるけれど^{すがた}姿が^み見えない、ということがよくありますね。この本の^{ほん}付録の^{ほうろく}データの^{つが}CDを使うと鳥の^{がぞう}画像を見てその^{こえ}鳴き声をきくことができます。声の^{しょうたい}正体がわかるかもしれませんよ。

えほん **E/□** **ソラE/赤** 『かわせみのマルタン』
リダ・フォシェ/文 フェードル・ロジャンコフスキー/絵
いしいももこ/訳・編 童話館出版

かわせみは^{あお}青い^{はね}羽根を持つきれいな^{とり}鳥です。そのかわせみの^{つがい}つがいをはじめ、^{かわ}川や^{かわぎし}川岸にくらす^{いき}生き物たちの^{いのち}いのちのリレーのおはなしです。



しらべる本 **J488** 『^{わた} ^お なその渡りを追う』
池内俊雄/著 ポプラ社

^{やちよう}野鳥が^{たまご}卵を^う産んで^{こそだ}子育てする^{ばしょ}場所と^{ふゆご}冬越しする^い場所を行ったり来たりすることを「^{わた}渡り」といいます。この本は、「^{ぼん}ガン」のなかまで「^{オオヒシクイ}オオヒシクイ」という鳥の「^{わた}渡り」のなぞを^と解き^あ明かそうと^と取り組んだ^{にっぽん}日本と^{けんきゆうしゃ}ロシアの^{ものがたり}研究者たちの^{ものがたり}物語です。

12日 ^{かんご} ^ひ 看護の日
ナイチンゲールデー

しらべる本 **J28** 『ナイチンゲール』
リチャード・テムズ/著 来住道子/訳 国土社



「^{はくい} ^{てんし} 白衣の天使」とよばれた19世紀にイギリスで^{かつやく}活躍した^{じょせい}女性の^{でんき}伝記です。ナイチンゲールは^{しょうがい}生涯をかけて^{きず}傷ついた^{へいし}兵士や^{ます}貧しい^{ひとびと}人々のために^{はたら}働き、^{かんご}看護の^{しごと}仕事を^{しよくぎょう}れっきとした^{せけん}職業として^{みと}世間に認めさ



～ 愛鳥週間 (バードウィーク) ～

1947年(昭和22年)に毎年4月10日を野鳥に親しみ、自然を保護する心を広めるために「愛鳥の日」として決めました。その後1950年より5月10日～16日の1週間はバードウィーク(愛鳥週間)としました。

日本でよく見られる代表的な野鳥は、約350種。5月は多くの鳥がたまごを温め子育てをする繁殖期で、平野部でもいろいろな野鳥が見られます。このため各地で鳥を観察する「探鳥会」などがひらかれています。

【野鳥とは】飼ひ鳥に対して自然のなかにいる鳥類をさすことばです。

参照：J03 『総合百科事典ポプラディア新訂版 あ・い』 ポプラ社
：J38 『日本の年中行事 5月・6月』

深光富士男／著 学習研究社

しらべるほん J488 『野鳥の図鑑』

藪内正幸／さく 福音館書店

しらべるほん J488 『鳥のくらし図鑑』

おおたぐろまり／絵・文 偕成社



5月は山や海へでかけなくても家の庭や街中でも野鳥の観察ができます。見かけた野鳥を図鑑で調べたり、いつどこで見かけたかなど観察日記をつけてみたりするのもいいですね。

～ 看護の日 ～

1820年の5月12日は、みずから戦地に行って負傷兵を看護したナイチンゲールの誕生日です。その功績をたたえて日本で制定された記念日です。

参照：J38 『366日じてん』 平野恵理子 [著] 偕成社

